

各 位

一般財団法人アジア太平洋研究所
 所 長 宮 原 秀 夫
 代表理事 岩 野 宏

アジア開発銀行 (ADB) ・ アジア太平洋研究所 (APIR) 共催セミナーのご案内 ～足下の米中貿易摩擦激化がアジア・太平洋及び関西経済に与える影響について～

前略

世界経済については、足下の米中貿易摩擦激化を踏まえ、IMF等の世界中のシンクタンクが先行きの見通しを相次いで下方修正しており、不景気が到来するのではないかと懸念も高まっております。また、世界の主要中央銀行も金融政策を引き締めから緩和へ転換させつつあるなど、景況判断が極めて難しい状況を踏まえ、弊所は今、起こりつつある変化に対する熟考が必要と考えております。

本講演会では、9月下旬に発表予定のADBによる最新の経済報告(Asian Development Outlook Update, 「ADOU2019」)に基づき、同行のチーフエコノミストである澤田康幸氏より、アジア・太平洋地域の足下の経済状況と今後の見通し、米中貿易摩擦が同地域に及ぼす影響と今後の予測等についてご報告いたします。また弊所松林主席研究員が澤田氏の発表を踏まえ、アジア・太平洋地域(特に中国)と貿易面での関係が深い関西経済を題材に、足下で生じている変化をご報告いたします。そして最後に弊所稲田研究統括も加わり、ディスカッションを行う予定となっております。本セミナーを契機として、関西(日本)と世界経済の今後について会場のみなさまとともに考察を深めたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

草々

記

日 時 令和元年9月26日(木) 15:00～17:00
 会 場 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム9
 (大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館地下2階)
 次 第

- ・報告①「アジア経済見通し(仮)」
 発表者：澤田 康幸 氏 (アジア開発銀行チーフエコノミスト兼経済調査・地域協力局長)
 ※上記発表は2019年9月下旬に発刊予定のADOU 2019に依拠した内容のため、変更となる可能性がございます。
- ・報告②「関西経済見通し：～米中貿易摩擦の影響を受けるアジア太平洋の貿易構造からの示唆」
 発表者：松林 洋一氏 (APIR主席研究員・神戸大学大学院経済学研究科 教授)
- ・討論
 コーディネーター：稲田 義久氏 (APIR研究統括、甲南大学総合研究所所長)

- 定 員 先着60名(定員になり次第締め切ります) ■ 参加費 無 料
- 申込方法 下記に必要事項をご記入の上、e-mail (kouenkai@apir.or.jp) またはFAXでお申込み下さい(e-mailにて受付連絡をいたしますので、必ず連絡のつくe-mailをお知らせ下さい)。以上

ADB・APIR共催セミナー(2019.9.26) ご送信先：FAX. 06-6485-7689

企業・団体名			
連 絡 先	TEL :	FAX :	
	e-mail :		
出席者ご氏名	ご所属・役職		

【ご連絡先】TEL：06-6485-7692 FAX：06-6485-7689 (担当：吉道、真鍋(昌)、中山(健))

- * ご記入いただいた情報は、当研究所からの各種連絡・情報提供のために利用するのをはじめ、講師には参加者名簿として配付させていただきます。
- * *省エネルギー推進のため、適正冷房(約28度)、職員の軽装勤務に取り組んでおります。会合へのご出席にあたりまして、適正冷房にふさわしい服装でお越し頂きますようお願い申し上げます。(期間：5月1日～10月31日)